



第3回 下越編

～水利の歴史と新潟農業の今～

海拔の低い新潟平野はかつて低湿地帯が広がり、人々は腰まで泥に漬かりながらコメ作りに取り組んでいました。その風景は、放水路の開削や排水機場の整備により一変。今では日本有数の農業生産地として広く知られています。水との闘いを振り返りながら、下越地域の農業の展望を描きます。



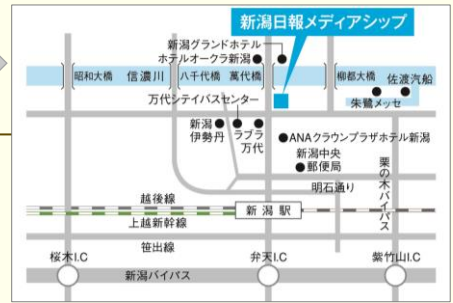
泥に漬かりながらの稲刈り（昭和26年の亀田郷）  
撮影：本間喜八氏 所蔵：亀田郷土地改良区

■とき 12月15日（木）18:30～20:30（受付開始 18:00）

■ところ 新潟日報メディアシップ（新潟市中央区万代3-1-1）  
6階ナレッジルーム

■定員 50人（参加費無料）

アクセス図



プログラム

○講演「芦沼から田園都市へ」

ふじ だい さぶろう

藤井大三郎さん

（新潟市都市政策部田園まちづくりアドバイザー）

○報告 生産、土地改良の現場から

おおの ごうき

大野 耕起さん（西蒲原土地改良区副理事長）

わしお のりお

鷺尾 紀夫さん（枝豆生産者）

こんどう のぶお

近藤 信雄さん（農事組合法人道賀代表理事長）

○座談会「水利の恵みとこれからの下越地域の農業」

いとう ただお

ホスト役 伊藤 忠雄さん（新潟大学名誉教授）

出演 藤井さん、大野さん、鷺尾さん、近藤さん

（ホスト役：伊藤忠雄さん）



申し込み方法

「実りの明日へ」連続講座下越編と明記し、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお申し込みください。  
12月5日（月）必着。◆はがき：〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日报社広告部 ◆ファクス：025-385-7476（下記の  
申込書用紙をご利用ください。） ◆メール：minori@niigata-nippo.co.jp  
※応募多数の場合は抽選。当選者には参加証を発送します。寄せられた個人情報は、本キャンペーンのみに使用します。  
[問い合わせ]「水利が拓く 実りの明日へ」事務局（広告部内）新潟市中央区万代3-1-1 電話 025-385-7473（平日9:30～17:30）

主催：農林水産省北陸農政局 共催：新潟日报社 後援：新潟県、新潟県土地改良事業団体連合会、JAグループ新潟

「実りの明日へ」連続講座下越編 参加申込書

氏名		年齢	☎
住所	〒	—	

FAX : 025-385-7476

「水利が拓く 実りの明日へ」  
事務局